

令和3年

第3回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

令和3年6月3日

令和3年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校教育課】

◇新年度のスタートについて

市内の小・中学校11校は、4月6日に始業し、7日から8日にかけて入学式が予定通り挙行されました。小学校6校の児童数が918人（前年度964人、前年度比46人減）、中学校5校の生徒数が583人（前年度572人、前年度比11人増）、計1,501人（前年度1,536人、前年度比35人減）で新年度がスタートしました。

◇幼・小連携について

平成29年告示の小学校学習指導要領には、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の重要性が示されています。本市の小学校でも幼児期の教育との円滑な接続が図られるように生活科を中心にスタートカリキュラムを編制し、幼保と小学校との合同授業や交流会等が行われています。また、春には小学校1年生の授業を幼保の保育士が参観し、その後、情報交換を行うなど、情報共有を行っています。秋には、幼保の年長児の様子を小学校の教員が参観するなど、幼保と小学校の連携を計画的に行っていくつもりです。

◇大曲仙北中学校春季体育大会の主な結果について

4月24日から美郷中学校体育館で開催されたバスケットボールで、角館中学校女子が優勝、神岡野球場で開催された軟式野球では、角館中学校が準優勝、ふれあい体育館で開催されたバレーボールで神代中学校が第3位、大曲体育館で開催された卓球の男子団体戦において角館中学校、女子団体戦において西明寺中学校が第3位、大仙市総合公園テニスコートで開催されたソフトテニス男子団体戦において生保内中学校が第3位となりました。

5月3日、角館武道館で開催された柔道では、男子団体戦で神代中学校が準優勝となりました。

◇仙北市育英奨学資金の被貸与者の決定について

令和3年度「仙北市育英奨学資金」の募集に対して、専門学校1人、国公立大学3人、私立大学4人の合計8人(昨年度10人)の申請がありました。

4月30日、仙北市育英奨学資金運営審議会を開催し、学校長の推薦内容や学業成績、所得状況を参考に選考した結果、8人全員(昨年度10人)が奨学生として適正であるとの意見をいただき、答申どおり決定しました。

また、令和3年度「仙北市育英奨学資金償還金免除」について、申請された53件の免除決定の報告をしました。

仙北市育英奨学資金運営審議会での意見等につきましては、極めて建設的な内容が多く、本制度の重要性及び必要性を再認識したところであります。教育委員会といたしましても、より一層管理体制の強化及び貸与財源確保等に努めて、学生の向学の志を支援し、人材育成を図ってまいります。

◇大曲仙北中学校陸上競技大会の主な結果について

5月18日・19日、県営陸上競技場で大曲仙北中学校陸上競技大会が開催され、角館中学校が男子総合準優勝に輝きました。個人種目でも、1年女子100mで桜木内中学校1年武藤桜南(むとう さな)さん、1年1500mで角館中学校1年鈴木優雅(すずき ゆうが)さんが優勝しました。その他にも、たくさんの生徒が入賞を果たしました。

◇全国学力・学習状況調査の実施について

5月27日、全国学力・学習状況調査が全国一斉に実施されました。教科に関する調査は、小学校では国語及び算数が、中学校では国語及

び数学が行われました。その他に、生活習慣や学習環境等に関する質問紙による調査も行われました。この調査は全国の国・公立の小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒が対象となり、本市でも小学校6校、中学校5校が参加しました。

【生涯学習課】

◇成人式について

今後のコロナの状況にもよりますが、現時点では、8月14日に昨年度の方の成人式を翌8月15日に今年度の成人式を市民会館で実施する予定です。

【中央公民館】

◇「花いっぱい運動推進事業」にしきのフラワーロード一斉植栽の中止について

「にしきのフラワーロード一斉植栽」について、今年度は5月30日の開催に向けて準備を進めていましたが、県内での新型コロナウイルス感染状況の悪化に伴い、市民の安全を考慮し中止としました。

なお、花いっぱい運動推進事業の一環であるマリーゴールド花苗配布事業については、植栽を希望する集落や団体のほか、幼保施設や小中学校へ、約26,700本の花苗を配布し、「花のあるまちづくり」に協力をいただくつもりです。

今後も新しい生活様式を踏まえ、感染防止に注意を払いながら「花いっぱい運動」を推進していきます。

【田沢湖公民館】

◇生保内節盆踊り大会について

例年8月20日に開催されている生保内節盆踊りについて、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、先行きが不透明な状況下での開催の可否について協議・検討した結果、市民の安全を第一に考え、今年度の大会は、

昨年に引き続き翌年度に延期としました。

【市民会館】

◇第35回生保内節全国大会の中止について

市民会館を会場に、9月25日・26日に予定しておりました令和3年度、第35回生保内節全国大会は、5月18日に田沢湖図書館会議室で開催された大会役員会、実行委員会におきまして、新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見通せない状況を受けて、昨年に続き今年の大大会中止を決定しました。

参加者が全国各地から集まることや平均年齢も高いことなどを考慮し、来年度に第35回大会を開くこととしました。

豊作を願い、奥羽山脈から吹きおろす東風の恵みを唄う生保内節は仙北市民の誇りです。昨年に続いての大会中止は苦渋の決断ですが、来年には盛大に開催できることを願っております。

【学習資料館・イベント交流館】

◇各展示会について

昨年9月26日から4月11日まで、新潮社記念文学館で「図書館100年のたからもの」を開催しました。会期中の入館者数は1,968人でした。4月24日からは「館蔵品展 歳月(とき)を刻む～雑誌から読みとる「新潮社の魂」～」を開催していますので、ぜひご覧ください。会期は9月26日までです。

【平福記念美術館】

◇「館蔵品・寄託品展」について

2月21日から4月11日まで開催した「館蔵品・寄託品展」は634人の入館者となりました。

◇「春のコレクション展」について

4月18日から5月30日まで開催の「春のコレクション展－花や鳥を中心に－」では、所蔵作品・寄託作品（日本画、洋画、写真、イラスト等）の中から春をテーマにセレクトした作品を約60点展示し、来館者の方には館内での春を楽しんでいただきました。

◇「寺澤孝太郎展」について

6月6日から7月19日まで「寺澤孝太郎展」を開催します。

寺澤孝太郎（てらさわこうたろう）は大正から昭和期にかけて活躍した仙北市角館町出身の日本画家です。同郷の日本画家平福百穂に師事し、雅号が多いことでも知られ、初期の柳江（りゅうこう）から始まり、黙雨（もくう）、大潤（たいじゅん）、彭澤（ほうたく）、孝太郎と名乗りました。

今回、所蔵作品、寄託作品のほか個人所蔵家からもお借りし、軸装、額装、屏風等約60点の作品を展示します。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。